



twitter小説作品集
【ノンタイトル】 3

Kazuyoshi Hinomoto

選ばれた人間

友人がロト6とBIGで9億円を当てた！その友人と一緒に飲みに行った。割り勘だと言うのでムカついた！「ケチ！何でお前ばかり！」「僕は選ばれた人間だから」と友人はうそぶく。翌日のニュースで納得した。翌日、友人は落ちてきた人工衛星に当たって死んでいた！

目頭が熱くなる

今日は卒業式！これで同級生や先生達と会えなくなると思うと目頭が熱くなる！ バックからマシンガンを取り出して同級生や先生を次々に殺して皆殺しにする！ こうして、私は殺し屋学校を卒業して殺し屋になった！

合鴨農法

合鴨農法というのをご存知ですか。合鴨に害虫を食べさせるというやつ！うち田んぼ今年から始めた・・・今年は豊作だ！と言うわけで今夜は鴨鍋だ！ え？ 米？ 収穫するの忘れていた！

二段重ね

小学校の娘が外から帰ってくるなり言った。「パパ！外で犬が二段重ねになっていたよ！」「え！それは…」私が返事に困っていると娘が私の顔を見ながら言った。「わかっているよパパ！私も時々ヒロ君と二段重ねになるから」「・・・」

twitter小説専門の作家

彼はtwitter小説専門の作家。大手企業のアカウントにツイートするtwitter小説を書いている。毎日毎日、来る日もくる日も彼はtwitter小説を書いた・・・歳月が流れた。彼は最後の時を迎えようとしている。彼の最後の呟き『普通の小説も書きたかった！』

今はいる！

放課後、誰もいない部室に後輩の女の子がいた。どうやら、僕を待っていたらしい。「先輩！彼女いますか？」「さっきまではいなかった！でも今はいる！」と言って彼女を抱きしめる！

twitter小説から映画

ついにtwitter小説から映画になる作品が現れた！シナリオも原作者が担当することに。今日はシナリオの原案が完全しての打ち合わせ。シナリオを読み終えた監督に怪訝な表情が浮かぶ！原作者「しまった！twitterの癖で文字数を少なくする表現で書いてしまった！」

空を覆いつくす！

人々は暗い目で廃墟の町を見入っている。まさか！こんなことになるなんて！誰かが呟いた。その時、奴が現れ空を覆いつくす！奴は人々を次々と喰らって行く。超巨大化したエチゼンクラゲから逃げ惑う人々...

私は着物を着ている

今日、私は着物を着ている。下着はつけていない。あ！　ころんでしまった！　着物の裾が捲れて中が丸見えになる。周囲の人は騒然となる。丸見えだから！いや見えていないから！私は透明人間！肌の露出している部分はメイクで見えるようにしているが、あそこまではメイクしていない！

男はtwitterで有名

男はtwitterで有名になり、選挙に出馬。当選して政治家になった。今日は政策に関する記者会見だった。引き上げるなか知り合いの記者と廊下で一緒になった。「さっき気づいたのですが、先生はスピーチの際、140文字以内で区切って喋るのですね」「・・・」

希望を食べる

小学校高学年ぐらいの少女が幼い弟と妹と家にいた。残りもののドーナツが一つ。半分にちぎり弟と妹に渡す。妹「お姉ちゃんの分は？」少女「ドーナツの穴」弟「何もないよ！」少女「ドーナツの穴には希望が詰まっているのよ！」「次に食べる時は希望を食べる！」口を揃えて言う弟と妹

路地裏の焼鳥屋

路地裏の屋台の焼鳥屋。終電を過ぎた時刻。景気のいい時は客はあったが、不景気で客足はさっぱり。親父はそれでも店を開いている。30年以上の習慣になっている。親父がふと路地を見ると最近めっきり見なくなった野良犬。親父は焼き鳥を犬に投げてやり、焼酎を一杯一気に飲む

携帯がない

携帯を失くした！ショックだった。夕食後、友人とメールをしようとして携帯がないことに気づく。その日はテレビを見て過ごした。翌朝、通学途中で友人を見つける。「おはよう！」声に出して言った。いつもはメールで済ましている。「昨日どうしていた？」何だか新鮮だ！

うさぎと亀

うさぎと亀が競争した。うさぎはどんどん亀を引き離してしてゴール直前。ここでうさぎは少し休憩。そのまま寝てしまう。一方、亀はゆっくりながらも着実に前進し寝ているうさぎを追い抜いて先にゴール...「ちょっと露骨過ぎないか！」と亀はうさぎに言ながらも金の入った封筒を渡す。

牛丼戦争カレー編

牛丼チェーンよる牛丼戦争はカレーにまで範囲を広げていた。そんななか、ある男が牛丼店の一つに来客した。「牛丼並み」と男は注文。周りを見回して「間違えた」と言った。店員「何を間違えたのですか？」男「だってここカレー屋ですよ？牛丼食べている人いないし...」

時計が壊れた

ある日、世界中で時計が壊れた。人々は混乱し現代文明は滅びた！・・・一人の青年が畑を耕している。夕日が沈みかけているのをみて作業をやめる。青年は思う。親の話したと昔は時間がもっと細かく分かれいたと言う。俺にとっては時間なんて一日の始まりと終わりだけでいい！

死神の耳

俺は死神に言った。「死神の目をくれ！」「悪いな死神の目はもう無い！死神の耳ならあるが？」「じゃ！耳をくれ！」こうして、俺は死神の耳を得た・・・その日から俺の不眠症は続いている。時折聞こえる断末魔の声！

悪魔に魂を売った男

俺は女に言った。「俺は悪魔に魂を売った男だ！君は俺に関わらない方がいい」 悪魔「また魂を押し売りされてしまった。誰の魂でもいいわけではないのに」別の悪魔は頷きながら「そういう奴に限って対したことできないんだ。女につらくあたるとか...」

秋祭り

祭りは人々で賑わっていた。秋祭りは収穫を祝う為に行われる...遙か上空。祭りの様子を見ている者達がいた。一人がぼっそと言った。「収穫祭か！そろそろ収穫の時期かな？」他の者達も頷く。彼らはの人類の拡散を500万年にわたり見守ってきた者達、神と呼ばれている存在だ！

文字にすると

『文字にすると伝わらない思いがある！』 何かのキャッチコピーだったと思う。ツイノベリストの私としては気に入らない！あえて『文字にすると伝わらない思いがある！』をテーマにtwitter小説を書いてツイートする...その瞬間、TLの私のツイートから逃げ出す文字達！

祈りを捧げる

道路脇には花が供えてあった。少女はその花に向かって祈りを捧げる。先月、少女の友達のヒロ君が事故で亡くなったからだ。少女はお母さんの方へ歩き出して振り返る。ヒロ君へさよならを言う為に！一瞬、少女の目に浮かび上がるヒロ君の姿！ぽつりと雨が降り出した！

寝転がって空を見る

芝生に寝転がって空を見る。空にはソフトクリームが浮かんでいる。その隣りはホットケーキ。そろそろおやつ時間だ。ママのおやつは世界一。友達のユ一君も同じことを言っている。僕のママとユ一君のママ、世界一が二人いてもいいじゃないか！

商品情報を呟く

私は某コンビニチェーン広告宣伝部に勤務している。仕事はtwitterで商品情報を呟くこと。休日、妻とスーパーへ行く。コンビニと違って色々と商品があって面白い！ 「休日ぐらいやめてよ！」と妻。はっと気がつき携帯の指をとめる。面白い商品があるるとつい呟いてしまう！

土鍋

子供の頃、実家にはひびの入った土鍋があった。火にかけても水が漏らないことを不思議に思っていた。ことことことこと、土鍋には結構あじわいがあった。おやじは良く、ひびにだしが染み込んでいるから旨いと言っていた。やがて、おやじは逝き、土鍋は割れた。

大地に降り注いだ

世界各地で戦争が起こった！近代兵器の発する熱量は凄まじく、大量の水を蒸発させた！やがて上空に上がっていた水蒸気は雨になって大地に降り注いだ！生き残った人々は空を見上げて茫然とする。誰かが言った『天が泣いている！』

不幸のツイート

このツイートを見かけたら必ずRTして下さい。さもないと貴方は不幸になります！ ←twitter小説ですよ！ 本気にしました？ 私がそんな悪いことをするように見えます？ 見える！ ああそうですか！ でも貴方だって、結局このツイートをRTするのでしょうか！

幸福のツイート

このツイートを見かけたらRTして下さい。RTしてもしなくても貴方は幸福になります！ ←
何か気になって！

合鴨が鳴いている

『グアグアグ』と合鴨が鳴いている。合鴨農法で田んぼに飼われている合鴨だ！もうすぐ稲の刈り入れが始まる。合鴨達がそのことに気づいているのかどうか...『グアグアグ』一際、鳴き声が大きくなる！

不幸のツイートの男

男は不幸のツイートをした。RTしないと不幸になると言うものだ！男は何気なく自分のツイートをRTする。TLに現れる不幸のツイート！男はRTしなかった。でも男はそれ以上不幸になることはなかった！なぜなら不幸のツイートをした時点で男は充分不幸であったから・・・

爆発するツイート

このツイートは3分後に自動的に爆発します！

納豆は・・・

「納豆は血液をサラサラにして、血栓をふせぐ効果の高い食品です！」と俺はプッシュする。「でも納豆は好き嫌いが分かれるからね！」和食レストランチェーン店の社員。「納豆はマヨネーズなどを加えるとおいが苦手な人でも大丈夫ですよ！」と俺。「粘るね！」「納豆ですから」

月のウサギに話かける

月があまりにも綺麗だったので心の中で月のウサギに話かけた。「ウサギさん！かぐや姫は元気かい？」「かぐや姫は今地球に転生しているよ！」とウサギは答える。僕は隣にいる彼女を見る。彼女の顔が一瞬、かぐや姫に見える！

翌日の弁当

女房と喧嘩した。翌日の弁当にはご飯に海苔で『死ね!』と書いてあった。その日、女房の好きな花を買って帰り黙って飾る。その翌日の弁当にはご飯にふりかけで『ごめん』と書いてあった。その日、帰ってこちらからも謝る。その翌日の弁当にはご飯には梅干で大きなハートマーク!

作家になった

会社を辞めて作家になった。心配をかけたくないので実家には内緒にしていた。暫くはギリギリの生活が続いた。そして数ヶ月後、本も出版されてやっと人並みの生活が出来るようになった頃、親父が死んだ！親父の遺品を整理していると俺の著書が見つかった。

よ〜いどん！

よ〜いどん！で娘が駆け出した！ 娘は子供達の中で一番早かった！ どんどん他の子供と離れて行く！ 一番でゴール！ はしなかった。娘はゴールと反対の方向、私のいる方向へ走っていた。私は到着した娘を抱き上げた！

眠れない！

眠れない！羊が一匹、羊が二匹・・・やっぱり眠れない！寝るのを諦めてtwitterをする。twitter具合が悪い！鯨が一匹、鯨が二匹・・・

たこ焼き

少女と幼い双子の男の子。三人は姉弟らしい。姉がたこ焼きを買った。ベンチの真ん中に腰掛け、たこ焼きの一つを右側の弟の口へ、2つ目を左側の弟の口へ、そして3つ目を自分の口に入れて食べる。順番に食べて行く。最後に残った二つ。弟達の口に入れ、自分は食べるふりをする。

芋

ここは外国のある村。発展途上国と言うよりは未開の土地。男達が狩りから帰って来た！残念ながら今日は獲物は取れなかったみたいだ。食事の支度が始まった。今日は芋だけの質素な夕食だ。村人達はそれでも楽しそうだ！笑い声が聞こえる！移動の時は近い...

転校生

あれは中学生になって直ぐのことだった。別にいじめにあっていたわけではないがなんとなく学校を休みがちになった。ある日、気が向いたので学校へ行くと隣の席に転校生の女子がいた。

「よろしく！」と言って微笑む！それから僕は毎日学校へ行くようになったのはいうまでもない！

屋台のラーメン

友人と飲んだ帰り近頃珍しい屋台のラーメン屋を見つける。そう言えばメを食べていないのを思いだして、長いすに座り注文する。ラーメンは醤油しかない！ 出てきたラーメンがまたいい！ ナルトが入っている！ 懐かしい味を堪能した！ 終電の時間が近い！ 屋台を出て駅へ急ぐ！

人口を増やした

政変が起こり総理が独裁者に！総理はまず人工受精と代理出産で人口を増やした。そして出産された子供が巷に溢れた。子供達が成長するとある共通点が...総理にそっくり！総理の精子を使った為だった。国民は心の中で溜め息をつく『一人でも厄介なのに！それが何千万人とは...』

日本twitter党

twitterの有志が集まって日本twitter党が結成された。そして選挙が行われた。日本twitter党からも何人か選挙に立候補した。選挙運動が開始された。だが彼らに試練が！...眩くのは得意だが、選挙演説ができなかった！

B o t を作成した

うどん屋跡継ぎの俺はtwitterで『ラーメン』という呟きがあったら『うどんもいいですよ！』と返すB o t を作成した。T Lを見ると『うどんもいいですよ！』と『うどんよりもラーメン！』というツイートが続いていた！誰かが『うどん』に反応するB o t でも開発したのだろう！

チャールズ・チャプリン

父親は酒に溺れて若くして死んだ。母親は発狂した。生きるために子供頃から舞台に立った
...チャールズ・チャプリンに関するネットの記述である。親父の部屋の片隅にチャプリン『キ
ッド』のDVDがあったので調べてみた。DVDを見る！笑いながらも涙が出る・・・

用件は世界征服

宇宙人が尋ねてきた！用件は世界を征服することのこと。征服されては堪らないので、酒を飲ませて接待する。宇宙人は酒が気に入ったらしく、世界の酒を征服するまで、世界征服を待ってくれるとのこと。あから数年、きっと世界の何処かで飲んだくれていたのだろう！

炊き込みご飯

仕事の関係で東京在住の俺。亡くなった親父の法事で久しぶりに大阪の実家へ帰った。法事が終わった後の夕食でのこと。母の得意の炊き込みご飯が出された。具は椎茸、生姜のみ。一口頂く。そうこの味。二口目は口いっぱい頬張る！

桃太郎

ある島に財宝あった。島にある村が密貿易で儲けたものだ。桃太郎は犬、猿、雉を脅して手下にして村を襲い村人を皆殺しする。そして、財宝を手に入れる。地元に戻って、有力者に金を握らせて言いふらす。『あの島は鬼が住んでいた鬼ヶ島だ！自分は鬼を退治した！』

少子化をイメージ

ドーナツを作る時に生地を穴を開け穴の生地を集めてまた穴を開ける。最後に残る穴を食べると福があると言われていました。この話を聞いた時、私はなんだか少子化をイメージしました。最後に残った男女二人。新たなアダムとイブには幸があるのでしょうか。

アダムとイブの時代

少子化が世界的に広まり、世界の人口は減り続けた。そしてついに最後の二人となった！ アダムとイブの時代に戻ったのだ！ 最後の二人は新たなアダムとイブになれるのか！ ←すいません残ったの男二人なんです...（天の声）

ゴジラとガメラ

息子がクレヨンで絵を書いていた。ゴジラとガメラが喧嘩している絵だそう。そう言えば最近、女房と喧嘩ばかりしている。絵を見るとゴジラとガメラと前で息子がお好み焼きを焼いていた。お好み焼きは私の得意料理だ。女房も大好きだ。久しぶりに作るか！ほんの少し息子に感謝！

逃げ出しました！

#twnovel ←作者に愛想つかして逃げ出しました！

カレーを食べると

新しいカレー店ができた。評判となり雑誌の取材を受けた。記者「なぜカレー店を始めたのですか？」店長「食べもの屋をやるのが夢でした！」記者「ではなぜカレーを？」店長「カレーを食べると元気になった気がしませんか？」店長は笑顔でカレーを差し出す。「試してみませんか？」

twitterで呟いた

twitterで焼肉が食べたいと呟いた。高級牛肉の焼肉セットが送られてきた！ 新しいパソコンが欲しいと呟いた。高スペックのが送られてきた！ 上司を殺したいと呟いた。上司の死体が送られてきた。高級な棺桶に入って...

にゅうめん

夏に食べきれなかったそうめん。日曜日のお昼、家族みんなでにゅうめんにして食べる。子供の頃、田舎で食べたにゅうめんを思い出して具になすびを入れてもらう。にゅうめんに入ったなすび。私は好きだ。子供達も気にいったみたいだ。

有料アカウント

最近、twitterに有料アカウントが出来始めた。殆どが投資情報などの情報提供が多かった。私もtwitter小説の有料アカウントを作成した。数ヶ月が過ぎた。アカウントのTLには『料金が安いと思っただ、一文字あたりのにすると高い！』と言うクレームが満ち溢れていた！

タコが一匹

海の中、タコが一匹。そこに飢えた魚が一匹寄ってきた。タコは足の一本をその魚に与えて足は7本になる。しばらくすると別の魚がやって来る。タコはまた足を1本与えて足は6本になる。そしてしばらくするとまた別の魚がやってくる。こうしてタコは足がなくなり海を漂う。ゆらゆら～

運動靴

学校へ行こうとすると、ママが新品の運動靴を出して「今の靴だいぶ古くなったから」と言う。玄関で靴を履く。古い方だ。新しい靴は下駄箱にしまった。なぜかって？いま履いている靴には転校した友達とサッカーをやった思い出がある！もうしばらく履こう。せめて履けなくなるまで...

この思い

この思い！文章にすれば陳腐となる！ #twnovel

牛丼戦争8

某牛丼チェーン店で新商品が関東地域限定で発売された。大阪から来た人が来店した。大阪人「地域限定の新商品て何や？」店員「納豆親子丼です」大阪人「なっとお！？納豆はあかんわ！」店員「納豆抜きにしましょうか？」大阪人「それってただの親子丼ちゃうんかい！」店員「...」

お金は大切

「お金は大切に使わないといけないよ」と父親は言った。息子は黙って頷いた。「一円を割るように使いなさい」・・・「おいこら！本当に割ってどうする！」

今日は雨だった

今日は雨だった。休日なので出かける予定をしていたが取り止めた。普段、聴かなかった音楽を聴き。読みかけの本を読み終えた。夕方には高校時代の友人と電話で話した。そして、久しぶりに家族の夕食に男の料理を披露した。いつもよりも濃い時間が流れていた。休日の雨も悪くない。

。

バイトで占い師

女友達にバイトで占い師をやっている子がいる。今日はその子に恋愛運を占ってもらった。現在、片想いの子がいると告げると「大丈夫！あなたの想いは伝わっている！」という返事・・・ドアのチャイムが鳴った。ドアを開けると占い師の女の子。彼女「来ちゃっ」...占いは当たった

いつものファーストフード

いつものファーストフードで店の子が「いまビッグバーガーを買うともれなく〇〇がついてきますがいかがでしょう？」「〇〇？」思わず聞き返す。「私がついてきます」え！と思ったが気になっていた子だったのでお持ち帰りする。美味しく頂いた後気がつく。もれなくついてくる！
？...

携帯でtwitter

携帯でtwitterを操作していたら自分のプロフィールに『あなたです！』と表示されるべきところに『フォロー』ボタンが表示されている。フォローしてみる。その瞬間、TLに私宛てのツイート。『あなたはいま禁断の扉を開きましたね！』そして...

彼は独裁者

彼はこの国の独裁者。国民全員が彼を知っている。いや本当の彼を誰も知らない。彼の映像は修正され演説の内容は側近が書く。そしてこの国に政変が起きる。きっかけは一人の男が独裁者の銅像を引きずりおろしたのが始まりだった。男は彼だった。独裁者は消え英雄が誕生した。

奴と共演

最近、俺は奴と共演したことがあった。そしてまた、あいつとも共演することも多くなった。一時期、俺と奴とあいつが舞台と一緒にいた。そしていま、奴『夏』は去り、俺『秋』はあいつ『冬』に舞台を託そうとしている。

世界は滅亡したらしい

朝起きると死んでいた。昨夜、会社帰りに飲み過ぎたせいかな...あの世へ向かう。周りには無数の人々。世界は滅亡したらしい。天使が現れた。「チャンスをやろう！同じ過ちをしないように！」・・・朝起きると急いで学校へ向かう。昨日は遅刻した。同じ過ちをしてはいけない。

ツイッター川柳

ツイッター小説ならぬツイッター川柳を誰かが始めた。徐々に浸透して、気がついたら爆発的なブームになっていた。TLは川柳で埋め尽くされ、他の眩きはめったに見かけなくなった。その結果、ツイッターの日本語の文字制限が17文字に変更された！こうして#twnovelはTL上から絶滅した！

結ばれることは無い

彼女は婚約者。でも結ばれることは無い。彼女は既に亡くなっているから。そう彼女は幽霊。夏に私の前に現れていままで側にいる。それもそろそろ限界。彼女は帰らないといけない・・・彼女の姿が薄らぎやがて消えようとしている。声は既に聞こえない。口を読む『あ・り・が・と・う』

納豆の美味しい食べ方

「納豆の美味しい食べ方は43回混ぜた後に醤油を入れ、さらに12回混ぜる」「何で43回と12回なのですか？40回と10回では駄目なのですか？」「別にいいけど。4、3、12で語呂がいいから」「語呂がいい方がいいのですか？」「ねばるね～」「納豆ですから！」

大阪のおっさん

大阪人がみんなお好み焼きとご飯と一緒に食べると思うとたらおお間違いやぞ。わしは好かへん！おいこら！何でお好み焼き定食、下げるねん？嫌いや言うた？ご飯は漬け物と味噌汁で喰うんや。お好み焼きはビールと...ねえちゃん！ビール！何？ついのべになってないて？知るか！

70億人目の子供

70億人目の子供が生まれた！70億人目の子供が成人した！世界の人口が80億人になった！
70億人目の子供に子供ができた！世界の人口が90億人になった！70億人目の子供に孫ができた！世界の人口が100億人になった！70億人目の子供が死んだ！世界の人口がゼロになった！

指がぐらぐら

朝食を食べていると違和感がある。やけに箸が持ちにくい。よくみると右手の人差し指がぐらぐらしている。そして、暫くして指がほとりと落ちる！痛みはない！驚いて病院へ行く。医者「大丈夫ですよ。よくあることです。まもなく新しい指が生えてきますからね」

もう駄目だ！

『もう駄目だ！』とツイートした。『頑張れ！』という返信があった。『もう頑張れない』と返すと。『頑張らなくていいよ！(´-`)』という返信があった。少しだけ頑張ろうという気がした。

心の折れる音

『バキ!』彼女の心の折れる音がした。彼女の最愛の人はもういない。僕は包帯と添え木で彼女の折れた心を手当てする。「私はそれでも彼を追う」と彼女。僕は言う「せめて、折れた心が治るまでここにいなよ!」

人々を導く

私は天使！人々を導くのが仕事だ。公園で酔い潰れている若い男を見かける。『何を荒れている？』男に語りかける。『仕事が上手くいかない！』男は言う。『きっと上手くいく！』と私は言う。翌日、男は政府要人を暗殺する。「仕事の内容はともかく、よく頑張った」と天使は呟く。

夜中に少女が立っている

夜中に少女が道に立っている。別に好きでここにいる訳では無い生きるために仕方なく。男がそんな少女に声をかける。少女は男と人目につかない路地へと消える。男は少女の乳房を貪っている。少女は男の首筋に唇を寄せる。と、男は倒れる。少女は男の血を吸った歯でニヤリと笑う。

大阪のおっさん2

『くだおれ』の意味知っとるか？『食い倒れ』てか？ちゃう！そないな意味もあるが、本来は『杭倒れ』昔、大阪では仰山の川が作られ、船が通ったんや。当時の橋の杭は今みたい頑丈ではない、すぐに杭を取り替えなあかん。この費用が馬鹿にならない。そやから『杭倒れ』や！

twitterで悪口を呟く

twitterを始めた。こそこそするのは嫌なので本名を登録。今日は大阪出張。大阪は嫌いなのでtwitterで悪口を呟く。街を歩いていると視線がやけに冷たい！ふとtwitterに目をやるとフォロワーが1億3千万人！全国民にフォローされている！そんな馬鹿な！

パソコンのマウス

パソコンのマウスを大きなものと取り替える。今まで、パソコンは彼女と共有で使っていた。マウスが大きいと使い難いと彼女が言うので小さめなものを使っていた。いままで使っていたマウスを机の引き出しにしまう。もう使うことはないだろうに...

アイコンはデフォルト

twitterを始めた！アイコンはデフォルトのタマゴのままにした。フォロワーが1000人を超えた時、アイコンを鶏に変えた。フォロワーが5千人を超えた時、焼鳥の写真に変えた。そして、フォロワーが1万人を超えた時、今度はアイコンが自動的に変わった。焼鳥屋の請求書に！

#twnovel

#twnovel twitterの制限である140文字の小説。twitterユーザー内で流行している。twitter小説を書く人は〇〇〇な人が多い。

片思いと片思い

「ずっと好きだった！でもあなたは振り向いてくれない！ずっと私の片思いだった」昔ある女が言った。「好きだから、ずっとあなたを見守りたい！片思いでも」と別の女性言った。やがて、彼女の片思いは両思いとなる！今の妻である。

大阪のおっさん3

たこ焼きがなぜ丸いか知っとるか？何！知らんて？たこ焼きが丸いのは物事を丸く収めるという
意味や！なぜ蛸やかって？蛸は尻にかけているや。つまりや『高い志持って世の中を丸く収める
』というこっちゃ！いい話やて？当たり前や！わしが作った話やからな！（・_・）エッ....？

羽根が一枚

白い天使の羽根が一枚落ちて来て少年に吸い込まれます。少年は気づきません。少年は成長し、大学時代に起業して成功を収めます・・・黒い悪魔の羽根が落ちて来て男に吸い込まれます。男は気づきません。男は政界へ進出して、『善』と『悪』の顔を使い分けて総理大臣になりました。

未来を見ることが出来る

私は評判の占い師。何故なら、私には相手の未来を本当に見ることが出来る。客が来た。「俺の来年の運勢を占ってくれ」意識を集中したが男の未来が見えない！「判らないみたいだなあ。でもそれで正解だよ。俺も先生も来年なんてないからね」と男は言ってダイナマイトを取り出す。

生きた金魚

回転ずしへ行くとシャリの上に生きた金魚が乗って流れてきた。好奇心から皿を取る。店員に訊くといま流行りの寿司だそうだ。食べようと箸を向けると金魚は恨めしそうな目で私を見る。勘定を払い急いで家へ帰る。金魚はいま家の水槽にいる。相変わらず恨めしそうな目しているが...

キュキュと雪の音

雪の日、朝早い時間、雪の積もった道を歩く、キュキュと雪の音が心地良い。来た道には足跡が残り、行く道は白一色。雪にできた点線...すぐに消されてしまうのだろう

川の前に立っていた

川の前に立っていた。向こう側からヒロ君が叫んでいる！ヒロ君は下流の方を指差す。橋があった。橋に向かって歩き出す。歩いても歩いても橋との距離は縮まらない……病室のベット、学校の階段で足を滑らしたらしい…ヒロ君！当分一緒に遊べないね！でもいつかまた一緒に遊ぼうね！

走馬灯のように蘇る

俺はビルの屋上から飛び降りた！30年生きた人生にうんざりしていたからだ。飛び降りた瞬間から俺の人生が走馬灯のように蘇る。いや遅い！まだ生まれてすぐの記憶だ！そう言えば、落ちている位置も殆ど変わっていない。まさか、体感時間30年で人生の記憶を辿るのか！

リサイクル亭主

リサイクルショップでいままで使っていたものを引き取ってもらいリサイクル品を購入した。興味が有るので訊いてみた。「引き取ってもらったもののこんなにボロボロでリサイクル品として売れるのかしら？」「人によって好みは違いますから」と亭主リサイクルショップの店長は笑う！

一年で一番忙しい！

忙しい！猫の手でも借りたい！今の時期は一年で一番忙しい！人によって希望するものが異なるから、色々な品物がを集めて配達しないといけない・・・クリスマス前日、やっと荷造りが終わった。私は赤い制服に着替え赤い帽子をかぶる。

俺、オレ！

家の電話が鳴った。電話に出ると「あ！もしもし、俺、オレ！」これが噂のオレオレ詐欺かと思ったが「もしもし」と応えた。「俺、オレ、俺、オレ、俺、オレ」おかしい！さっきからオレオレしか言わない！と、俺の肩を軽く叩くものが...振り返ると俺が立っていた！

カレーうどん

雪の日、私は従兄弟と遊んでいた。お昼ご飯の時間なのでお爺ちゃんの家へ帰る。気がつくとも体は冷え切っていた！お爺ちゃんはカレーうどんを私達の前に置く。一口食べる。その味は元コックだったお爺ちゃんの本格的カレーではなく、子供向けに甘くしてあった。暖まる味！

白い目

酒を飲んで電車に乗っていると周りから白い目でみられた！ムカついたので周りの人間を殴り倒すとみんな白い目を剥いていた！

布団から出るのが嫌で

寒い！土曜日、寒さで目が覚めた。布団から出るのが嫌で、寝て過ごす。食事は出前で済ませた。日曜日、やはり寝て過ごす。食事はレトルトで済ませた。月曜日、仕事を休み、寝て過ごす。食事はとらなかった。火曜日、大きなキノコに変身していた。布団に根を生やし養分を吸収する。

新聞を買わなくなった

新聞を買わなくなった。通勤中、携帯でニュースを見ている。気になるニュースは後でネットで調べればいい。どうせ新聞のニュースは昨日の出来事だ。ネットでの検索が少し遅くなったが大差ない・・・新聞が無くなった！その後、ネットのニュースが有料になった！それはないよ！

人類の卵

人類が卵から生まれるようになった。人工的なもので、受精卵を取り出して育てるというものだ。装置の形がまた卵そっくりだった。施設は無人システムで管理されていた...地球に漂流した宇宙船。異星人が歓喜を上げる！「助かった！こんなところに卵が！これで食料は確保できた！」

カーネルサンダース

ケンタッキーフライドチキンの前を通るとカーネルサンダースの人形が白い服を着て立っている。フライドチキンおじさん！見ていると安らぐ。クリスマスの夜、お店の前を通るとおじさんがサンタクロースの服を着ていた。とっても似合っている。『メリークリスマス！』声が聞こえる！

冷凍庫に保存

近所で合鴨を飼っている。合鴨農法に使ったものだ。ふつうは刈り入れが終わったら食肉業者に引き取ってもらうらしいが可哀想なので飼っているそうだ・・・冬のある日、池が凍りついて合鴨達は凍死した。近所の人合鴨達を運んだ。冷凍になっているので冷凍庫に保存するそうだ。

俺が立っていた

ドアを開けると俺が立っていた。一週間後の未来から来たという。「一週間後にお前は死ぬ！」未来の俺は死人のような真っ青な顔で言った...と、突然姿が消える...それ以降、あれが実際のことか幻覚だったか気になって仕方ない。でも、もうすぐ判る。今日が一週間目だ！

スペシャル料理

彼は料理人。小さなのレストランをやっている。彼はクリスマスイブのスペシャル料理の準備をしていた。突然、彼は後片づけをして、『本日休業』の札を掲げて店を後にする。イブの夜、彼は妻と食べた料理を思い出した。そして、今日がプロポーズして、ちょうど10年目だった。

第2回twitter小説大賞の授賞式

まもなく、第2回twitter小説大賞の授賞式が始まる。私は都合で欠席。少し寂しい気もするが...私は私の物語を今日も呟こう

腹の中に

さっきから、腹の調子が悪い。腹の中に何かいるみたいに痛む！やがて、痛みは激痛変わり、腹がせり出してくる。ギャー！腹を突き破って血まみれの蛇が...私は蛇の視点になり長い舌で自分の血を舐める！

一日中自宅で過ごす

何だか熱っぽいので今日は仕事を休み、一日中自宅で過ごす。少しうとうとした後、熱も下がったみたいので読みかけの本を読む。本を読んでいるとまた眠くなり、うとうとする。はっと目を覚まし時計を見る。いつもよりも時間が濃いみたいだ。

サンタクロース235号

『サンタクロース235号から1059号へ。プレゼントの用意はいいか』『準備は完了している』『サンタクロース735号から56号へ。トナカイの手配は完了しているか』『トナカイ、手配済』『サンタクロース1号から全員に。当日は子供達への愛情を忘れないように!』

かけうどんとご飯

娘と一緒にセルフサービスのうどん屋へ入る。かけうどんとご飯を注文する。無料の天かす、ネギをご飯とうどんにのせる。うどんに汁をたっぷり注ぎ、ご飯には少しだけかける。娘にはうどんを食べさせ、私はご飯を食べる。クリスマスイブの夜！今日は寒い！

サンタさんはいつ来るの？

「お姉ちゃん！サンタさんはいつ来るの？」「今晚来ると思うよ」...サンタさんが来るまで起きていると言っていた妹。やがて寝てしまう...「お母さん」と寝言。きっとサンタさんが来て、震災で亡くなった両親に会わせてくれたのだろう。私はそっとクリスマスのプレゼントを妹の横に置く

運命の日が来た

運命の日が来た！いま小屋に残っている鶏は私だけだ！私の飼い主は何かイベントがあるたびに私達をローストチキンにする。飼い主が小屋に入って来て私と視線が合う。「息子夫婦と孫も海外転勤で引越した...クリスマスの夜に玉子かけご飯も悪くないか」そう呟いて小屋から出て行った

プレゼントを配り終えて

プレゼントを配り終えて休んでいると、サンタが焦って私のところに来て言った。「悪いけれどもう一回りしてくれ！配り忘れた物があるから」私が怪訝な顔をしていると。「子供達にプレゼントが必要なように大人には『夢』が必要なんだ！いまは！」

雪女が隣りに座っていた

やけに寒いと思ったら、雪女が隣りに座っていた。何しに来たと聞いたら。外は寒いので部屋に入って来たと言う。僕がパソコンを使っていると、雪女が使わせてくれと言う。彼女がキーボードを叩くと文字通りフリーズ（凍結）した！仕方ないのでお湯をかけて3分待つと復活した！

焚き火

寒い！寒い！寒い！何度言っても暖かくはならない！公園で焚き火をする。どこからか犬が寄ってくる。犬も寒いのだろう。焚き火から焼き芋を取り出すと犬がワンと吠える。焼き芋を半分千切り犬に与える。残りの半分を手で包み込んで暖かさを感じる。

twitter上で結婚

twitter上で結婚した。実際の妻は別にいる。twitter上の会話は面白く夢中になる。時々、妻が嫉妬するので、ご機嫌を取る。夫がtwitterに夢中だ。twitter上で結婚したそうだ。馬鹿馬鹿しい！...夫は知らない！twitter上の妻も私であることを...

鬼が笑う

来年ことを言うと鬼が笑うといいます！鬼は今頃大笑いしているのじゃないでしょうか！笑う門には福が来ると言います！来年は良い年になります！きっと！

雪が積もっていた

田舎へ帰ると雪が積もっていた。久しぶりに見た気がした。道を歩くとキュキュッと雪が鳴った。もう直ぐ到着だ。庭で雪だるまがお出迎えをしてくれる。

犯人の顔

婚約者が殺された！僕は犯人の顔を見ている。しかし、ショックで犯人の顔を思い出さない。なんたることか！必死で思い出そうとしているが思い出せない・・・雷が鳴った！その瞬間！犯人の顔が浮かび上がる！鏡に映った僕自身の顔！

晦日蕎麦を食べながら

晦日蕎麦を食べながら考える。今年はろくなことがなかったと。来年こそはいい年でありますようにと。あれ！何かが変わだ！時間が止まっている！...それ以来、時間が再び動き出すことはなかった。誰が想像しただろうこんな方で世界の終わりが来るなんて...

お父さんが作ってくれた

お母さんが今年亡くなった！それ以来、お父さんと二人暮らし。お父さんは慣れない手つきで家事をやっている。いつもはこの時期、お母さんがお節料理を作ってくれるが、今年はスーパーで買ってきた。夜、お父さんが蕎麦を作ってくれた。美味しくはなかったけどあたたかった！

何も書いていない年賀状

何も書いていない年賀状が届いた。不思議に思ったが、あぶり出しかと思い火であぶった。爆発した！

今年は違っていた

いつもと変わらない正月。だが今年は違っていた。年賀状の干支が兔になっていたからだ。何年か聞くと2011年という答えが返ってきた。それから俺は東北地震を予言して有名になった。ここまでは良かったのだが...〇〇〇死去の予言はずかした！いま、□□□から狙われている！